

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナー2024のご案内

九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) の福岡2024セミナーを ハイブリッド開催します。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

◆日 時 / 2024年8月9日 (金) 13:00~17:10 (受付開始12:30)

◆会 場 / SCSK 株式会社 セミナールーム【地図】 <https://www.scsk.jp/corp/access/map05.html>

〒812-8542 福岡市博多区博多駅東1-17-1
コネクトスクエア博多10F

【地図】 

◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) <https://kdk.sakura.ne.jp/>



◆参加費 / 無料 ◆定員 / 50名 (来所) 100名 (オンライン)

「スケジュール」

第1部 13:00~14:30 【司会：KDK 副会長 黒崎播磨 神尾 英俊】

◇Webアンケート案内 (URLまたはQRコードでのご入力をお願いします)

13:00~13:15 ◇開会挨拶 KDK会長 佐賀大学 萩原 世也

13:15~14:15 ◇基調講演 岐阜大学 工学部 機械工学科 教授 仲井 朝美 様

(講演50分・
質疑10分) 「持続可能な社会を実現する複合材料の成形とCAE」

(休憩 14:15~14:30)

第2部 14:30~17:00 【司会：KDK幹事 日鉄エンジニアリング 加来 貴之】

14:30~15:00 ◇事例紹介1 Hexagon テクニカルフェロー 立石 源治 様

(紹介25分・
質疑応答5分) 「ボルトの緩みシミュレーションの紹介」

15:00~15:30 ◇事例紹介2 株式会社 電通総研 設計生技連携 P Dグループ グループマネージャー

(紹介25分・
質疑応答5分) 「成形品質を向上させるDX活動」 樋口 涼一 様

15:30~16:00 ◇事例紹介3 SCSK 株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部 染谷 和 様

(紹介25分・
質疑応答5分) 「材料開発におけるミクロ構造シミュレーションツール GeoDict のご紹介」

16:00~16:30 ◇事例紹介4 計測エンジニアリング 株式会社 (KESCO) 営業技術 永山 達彦 様

(紹介25分・
質疑応答5分) 「COMSOLを用いた複合材料のマルチフィジックス解析」

16:30~17:00 ◇事例紹介5 アルテアエンジニアリング 株式会社 技術本部 シニアテクニカルディレクター

(紹介25分・
質疑応答5分) 「シミュレーションとAIの融合による最新技術とその活用例」 松本 秀一 様

17:00~17:10 ◇Webアンケート案内 (URLまたはQRコードでのご入力をお願いします)

<https://forms.office.com/r/DUVqAE8Rab>



17:10~17:30 片付~退出

懇親会 17:30~ 会費 4,000円 場所：居酒屋 どんぼん海 ◆博多区博多駅東2-2-10

「KDK福岡2024セミナー」申込 下記、URL、または、QRコードにてお申し込みください。

★ <https://forms.office.com/r/eGBqx0g7R6>

※参加の連絡をいただいた方には、後日Zoomの情報をお送りします。



◆申し込み期限：2024年8月1日(木) ※定員になり次第締切させていただきます。

◆お問い合わせ先：九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 竹下 一博 (株式会社 デックス) まで
TEL 080-7003-0029 E-mail: takeshita.kazuhiro@dex-e.com

※駐車場は準備しておりませんので、お車でのご来場の方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。

講演概要

◇基調講演

岐阜大学 工学部 機械工学科 教授

仲井 朝美 様

「持続可能な社会を実現する複合材料の成形とCAE」

【概要】

空飛ぶ車・水素貯蔵・電気自動車・宇宙関連・風力発電・建設分野などにおける材料選択において、炭素繊維強化複合材料（CFRP）は選択肢の一つではなく、必要不可欠なものと言えます。今後の需要の増大に備え、「供給」について考える必要があり、最も重要なキーとなるのはものづくり「成形」になります。熱硬化性樹脂あるいは熱可塑性樹脂、繊維形態および繊維体積含有率、生産量等に応じた変種変量のものづくりが必要となります。本発表では、複合材料およびその成形について概説し、成形とCAEの事例について説明します。

◇事例紹介1

Hexagon テクニカルフェロー

立石 源治 様

「ボルトの緩みシミュレーションの紹介」

【概要】

ねじ締結部を左右に振動させると座面とねじ面が固着状態からすべり状態になり、ねじの螺旋形状によりせり上がるようにねじがゆるんでいく。この現象は長期にわたる周期的な負荷による緩み現象であり、極微細な緩みの蓄積により発生する緩みを表現するには、摩擦現象を精度良く再現する数値解析手法が必要になります。HMI（MSCソフトウェア）では橋口摩擦モデルのMarcプログラムへの導入を進めており、本モデルを用いたボルト緩みシミュレーションの紹介を行います。

◇事例紹介2

株式会社 電通総研 設計生技連携PDグループ

樋口 涼一 様

「成形品質を向上させるDX活動」

【概要】

電通総研（旧ISID）は長年、製造業向けにCAD/CAM/CAE、PLMなどのIT導入からシステムインテグレーション、業務をご支援するコンサルティング活動まで、モノ作りを効率化する様々なサービスを提供しています。昨今はDXという切り口で複合的なご支援が急増しています。本講演では、起業初期から長きにわたりご支援させて頂いている樹脂成形金型分野において、成形分野でのDXの取り組みについてご紹介致します。

◇事例紹介3

SCSK 株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部

染谷 和 様

「材料開発におけるマイクロ構造シミュレーションツール GeoDict のご紹介」

【概要】

日本は材料分野において高度な技術力を背景に基礎・応用ともに高いポテンシャルを有している。しかしながら近年では世界レベルでの研究開発競争の加速に伴い開発期間の短縮、コストの増大、環境問題への対応など多くの課題が顕在化している。本講演では多孔質材料のデジタルツインを生成し特性や機能を解析できる GeoDict を中心にミクロスケールのシミュレーション技術を紹介する。

◇事例紹介4

計測エンジニアリング 株式会社 (KESCO) 営業技術

永山 達彦 様

「COMSOLを用いた複合材料のマルチフィジックス解析」

【概要】

COMSOL Multiphysics®は、様々な物理現象を連成させて解析できるため、複合材料の複雑な挙動を正確に解析いただくことが可能です。本講演では、COMSOL Multiphysicsを用いた複合材料のマルチフィジックス解析の機能と活用事例を紹介します。

◇事例紹介5

アルテアエンジニアリング 株式会社 技術本部

松本 秀一 様

「シミュレーションとAIの融合による最新技術とその活用例」

【概要】

アルテアは、shapeAI、physicsAI、romAI、DesignAIといったシミュレーションとAIを融合した最新技術を提供しています。それらを活用することで、ユーザーは最小限の工数で「部品の形状識別と分類」、「3Dシミュレーション結果の高速予測」、「動的サロゲートモデルの作成」、「クラウド環境での製品性能最適化」を実現でき、製品開発段階で迅速な意思決定を行うことが可能です。本講演では、アルテアのシミュレーション主要製品に実装されているAI技術の概要と活用例をご紹介します。

◇Webアンケート案内（URLまたはQRコードでのご入力をお願いします）

<https://forms.office.com/r/DUVqAE8Rab>



懇親会 17:30～

会費 4,000円 場所：居酒屋 どんぼ海 ◆博多区博多駅東2-2-10

<https://www.hotpepper.jp/strJ001200870/map/print/>

